神戸新聞 2017年03月23日 木曜日 面名 但馬 １３ 27ページ

名 前【　　】

コウノトリ徳島でふ化

「全国へ」大きな一歩

声弾ませ豊岡の関係者

徳島県が22日、同県鳴門市で、国の特別天然記念物コウノトリのヒナが誕生したとみられると発表した。2005年に豊岡市内でコウノトリが放鳥されてから12年。豊岡市周辺地域以外の野外では全国で初めて。「全国へ、そして世界へ」を合言葉に進めてきた野生復帰事業は、大きな節目を迎えた。

（1面参照）

兵庫県立コウノトリの郷公園（豊岡市祥雲寺）などから放鳥されたり、野生下で繁殖したりしたコウノトリは現在96羽まで増え、豊岡市周辺では順調に繁殖が進む。

一方で同公園は繁殖個体群（営巣地）を豊岡市周辺から但馬地域、全国へと広げることを目指すが、これまで同市周辺以外では繁殖例がなかったため、関係者にとっても待ちに待ったヒナの誕生となった。

今年は他県でも産卵や巣作りが確認されており＝図参照、今後もヒナの誕生が期待される。同園の宇都宮英信副園長は「日本中のあちこちにコウノトリが飛び、住まう未来を描いているが、ヒナ誕生で最初の一歩をやっと踏み出せた状況だ」と声を弾ませる。

ペアのうち、3歳雌「あさひ」が放鳥された朝来市山東町三保の拠点施設がある地元、与布土地域自治協議会の奥敏夫会長（73）も「『あさひ』はなかなか行動力のある子で、われわれにとって親善大使のような存在。ヒナが誕生してよかった。将来、『あさひ』の子どもが三保に来てくれれば地元も盛り上がる」と喜んでいた。（阿部江利、長谷部崇）

徳島県鳴門市に飛来し、ヒナをふ化させたとみられるコウノトリのペア＝2015年12月、徳島県鳴門市大麻町（コウノトリ定着推進連絡協議会提供）

今年の豊岡市周辺以外でのコウノトリ

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① 全国で初めてとなったのは、どのようなことですか？

（　　）

② ペアのうちの3歳雌「あさひ」は、どこで放鳥されたのですか？

（　　）

③ そこの関係者である奥敏夫自治協議会会長さんの思いが書かれてあるところを囲みましょう。

④ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

NIEワークシート／中学生／国語、総合、朝NIE